

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
地理歴史	世界史総合	普通科・第3学年・文系	4
準教科書	[主たる教材] 山川出版社 詳説 世界史B 実教出版 高校政治・経済		
副教材等	清水書院 高等学校新倫理 [副教材] グローバルワイド最新世界史図表 (第一学習社)		

## 1 科目の目標

歴史を学ぶことはただ単に過去のできごとを学ぶだけでなく、現在とのつながりを知り、現在の社会の状況を理解することになるという認識を深めること。そのために政治経済や倫理で学習する「制度」や「組織」、「思想」を世界史的観点から捉え直し、総合的理解を深める。さらに課題学習に取り組みさせることにより、現代の社会(「今」)を理解する力と、世界の中での日本の役割(「今後」)を考える力を育てる。

## 2 科目の内容

- (1) 歴史的事項と現在の私たちのつながりの学習
- (2) 現代の社会と関連させた総合的かつ多角的な考察
- (3) 適切なテーマによる課題学習

## 3 授業計画

月	内 容	配当時間	指導上の留意点
4 月 5 月	○ルネサンスと宗教改革 ・中世ヨーロッパの思想とルネサンス期以降の思想の違い ・ルターやカルヴァンの職業召命観と現代とのつながり  ○欧米における近代社会の成長と発展 ・権利の主張とその制限の歴史  1 学期期中間考査	18	1つ1つの事項に対して正しい認識を得て、歴史的な流れを理解できるようにする。それと同時に
5 月 7 月	・社会契約論の登場 ・国民国家の形成と各国の憲法の特徴 ・明治憲法と日本国憲法の成立  1 学期期末考査	26	倫理や政治経済で学習する知識が歴史や現代社会のどこにその影響を見ることができかをその都度提示していく。
7 月 9 月 10 月	テーマ学習 「憲法改正をどう考えるか」 ○二つの世界大戦 ・第1次大戦の原因となる第2次産業革命と帝国主義各国の経済活動  2 学期期中間考査	36	

10月 11月 12月	○二つの世界大戦 続き ・世界恐慌と計画経済と第2次大戦の関係 ・2つの世界大戦の戦後処理の違い テーマ学習 「平和について考える」	2学期期末考査	36	得た知識を今と 今後に活かせる ように考察させ る。
1月 2月 3月	○世界の地域紛争 ・宗教的要因 ・政治的、歴史的要因 ・地域紛争の現状、それをとりまく国際情勢 ○テーマ学習 「世界の地域紛争と日本の役割」	学年末考査	24	「課題学習」で は、各自の課題や 生徒全体の到達 状況に合わせ、適 切なテーマを設 定する。

計 140時間 (55分授業)

4 学習評価

	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
評価の観点・規準	歴史的事項、制度、組織、思想の関連性への理解、またそれが現代社会のどこに影響しているかについての興味・関心。 今と今後を生きるための考え方を確立しようとする意欲。	学習した歴史的事項、制度、組織、思想と現代との関わりを踏まえ、現代社会が抱える問題の原因・経過について考察し、総合的な観点からこれからの社会のあり方や、国際社会の中における日本の立場・あり方を考察する。	教科書、資料集、ワークシートを参考にしながら学んだ内容を文章や言葉で表現できるか。	歴史的事項、制度、思想を正しく理解し、さらに過去のできごとまたは現在の状況と関連づけて総合的に認識し、位置づけをすることができるか。
評価方法	・学習活動への参加状況 ・発表内容 ・レポートの内容	・定期考査 ・質問に対する発言や発表の内容 ・レポート	・定期考査 ・質問に対する発言	・定期考査 ・質問に対する発言や発表の内容 ・レポート

5 担当教員

地歴科教諭

6 担当者からのメッセージ

歴史は「今」を理解するために必要な知識であるとともに、「未来」を展望するためにも必要な知識です。世界史から学べること、人生に活かせることは無数にあります。知識を暗記するだけでなく、知識を役立たせるために、授業で歴史的思考力を身に付けていきましょう。

